

簡略学習指導案の具体例

①学年、教科

五学年 国語科学習指導案

②単元、教材名

「説明文のタイトルを読み取ろう」／『想像力のスイッチを入れよう』（光村五年下）

③実施日時、授業者

2020年 6月30日 ○○小学校 多賀一郎

④目標

事例と意見の自分との関係を読み取り考えをまとめる。

⑥児童観

- ・メディアの特性について友達と話し合うという経験はほとんどない。
- ・普段使っているメディアへの関心を高めたい。
- ・短い時間でさっとまとめる力は半分以上がまだ身につけていない。

⑦教材観

- ・筆者のあげる事例と自分の知識経験とを関連付けながら読み取り、自分の考えをまとめる単元である。
- ・教材文は五年生には少し難しい。
- ・自分に関連づけて読むことも慣れていない。
- ・最終的なめあては「自分の考えをまとめる」ことにあるので、大体を読んでいきながら自分との関連を考えていけばよいだろう。

⑧指導観

- ・友達と考えを聞きあうことで、経験の薄さを補い合う。
- ・主体的対話的で深い学びの一例として、冊子を渡して授業の見通しを持たせて、友達と聞きあいながら自分で進めていける形をとりたい。

⑩単元指導計画

- (1)タイトル読みを通して、文章の見通しを持つ。
- (2)すらすらと音読できるようにする。
- (3)知っておきたい言葉を確認する。
- (4)本文から読み取ったことと考えたことをまとめる。
- (5)体験や知識と意見を中心に文章をまとめる。
- (6)グループで見せ合って意見をもらい、自分の文章をまとめ直す。

⑪本時

④本時の目標

説明文のタイトルを読むことの意味を考えることができる。

⑤本時の展開

学習活動	指導上の留意点
1. 説明文とは何かを考える。	・生活に必要で、新しい知識を取り入れるものだと教える。
2. タイトル読みはなぜ必要なのかを考える。	・タイトル読みの経験から、自分たちが自覚していないことに気付かせる。
3. 物語文と説明文のタイトルを比較して違いを考える。	・タイトルだけでは中身が想像できないことに気付かせるため、過去に学んだ教材のタイトルを並べる。
4. 説明文を選ぶときにどうするか考える。	・タイトルから探すことに気付かせたい。
5. 本文のタイトル読みをする。 ・個人で書くーグループで聞きあって、まとめる。	・聞きあい方を知り、その時間を確保する。
6. シェアして、自分なりに確定する。	・最後に教えて写させるということは避けたい。